

マンガを用いた業務教育 アプローチについて

松谷峰生（まつやみねお）

役割

- WEB QA
- JaSST Kyushu共同実行委員長
- QA4AIコンソーシアムメンバー

趣味

- お絵かき
- 筋トレ

塾講師をしていたとき

いかにわかりやすく教えるか

いかに楽しんで学んでもらうか

いかに興味を持ってもらうか

現場の初期教育でよく見られること

OJTで直近必要なことのみ 教える

人数が少ないときはいいが...

現場の初期教育でよく見られること

座学で業務知識詰め込み

資料読み上げ6時間

現場の初期教育でよく見られること

どうせ資料の読み上げだから...
ビデオの録画を流せば
工数削減では!?

「伝える」の形骸化

学んでもらう

取り組み

学んでもらうためには

相手にわかる言葉で
わかりやすく伝える

相手が楽しめるように教える

相手に興味を持ってもらう

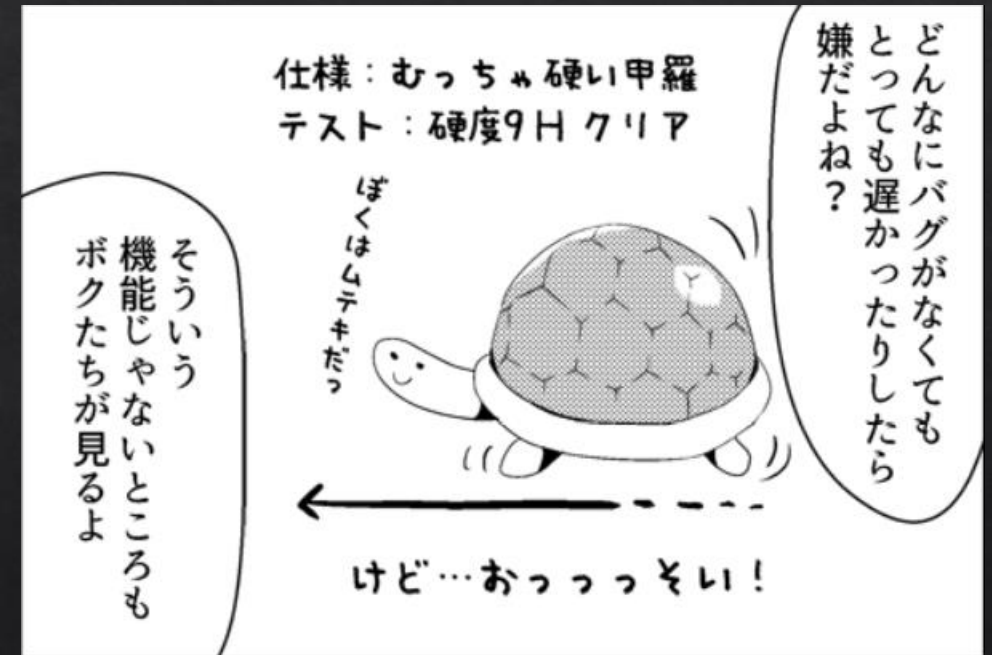
「マンガ」でアプローチ

学んでもらうためには

我々がよく使う言葉も
初学者にとっては未知の言葉

本も小難しい言葉が多く
読書習慣がない者にはつらい

「機能の確認だけではなく、非機能の確認も大切」



座学

資料をそのまま伝えるだけでは頭に入りにくい

手振り身振りといったジェスチャー

例え話で身近なことに例える

自分の経験を伝える

テストケースのときも
報連相(ホウレンソウ)は
しっかりとね

報告、連絡、相談は
お仕事の基本だよ
リーダーがいつでも
自分のことを見てくれている
わけじゃないんだ



テストケースの自分の担当範囲が
終わったら報告しようね

次のお仕事が
あったりするよ

よくわからないから
「たぶんこのことだろう」
が一番やつちやダメ!
わからないときは必ず相談しよう

※実際に「わからないけど聞けない」という人は結構いる。
けど目で合図を送ったり、困ったオーラは発している。
リーダーは気を集中すれば向けられているフォースを感じられるはず。
フォースと共にあらんことを。

「パナー」をクリック
だと...?

横文字はわからねエ!!

とりあえず丸いのを押して
Passだ...

ククク...



「マンガ」は学習と相性が良い

相手にわかる言葉で
わかりやすく伝える

相手が楽しめるように教える

相手に興味を持ってもらう

実際にマンガを使ってみた

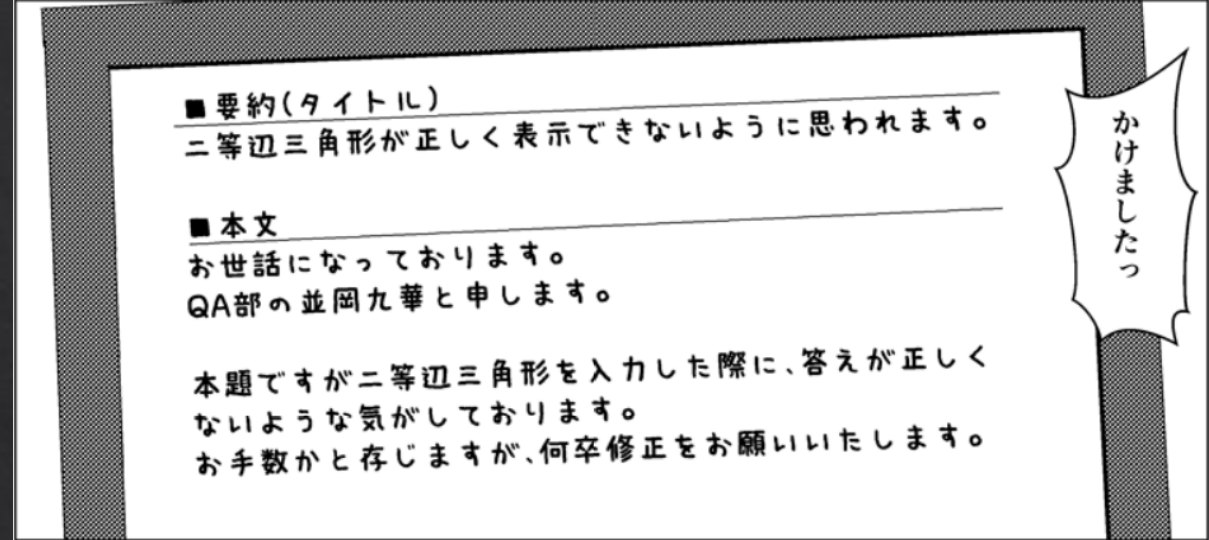
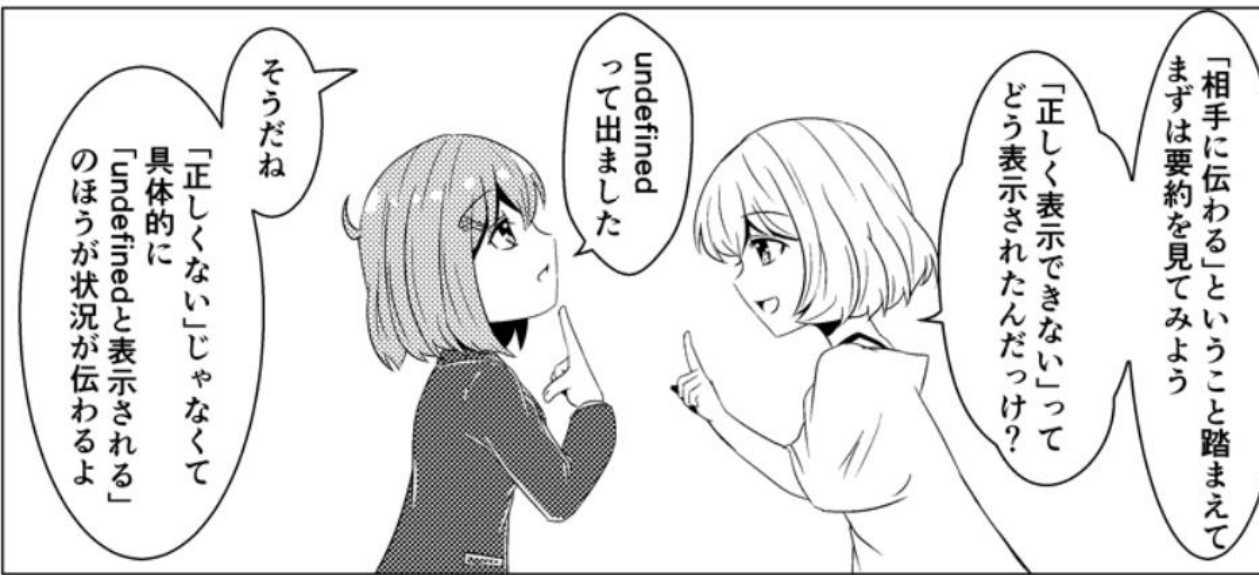
基本的な教育は実施

マンガは
「テストの基礎部分」
を学ぶ補助教材として
読んでもらった



マンガ全体を通し 「テストのマインド」 を学ぶ

「テストってアプリ触るだけの
作業だと思ってたけど
違うんですね」



基礎を学ぶ

例： バグ票の書き方

副次的効果

業務以外で
自ら進んでブログや本を読む人は少なかった

マンガであれば見てくれる人も増えた

自己学習のファーストステップ

何のために、
誰のために、
伝えていますか？

Thank you